

## 第2次大船渡市環境基本計画（案）に対する意見の概要と市の考え方について

市では、平成25年度から34年度までを計画期間とする「第2次大船渡市環境基本計画（案）」について、平成25年1月8日（火）から1月21日（月）まで、パブリックコメント及び市政モニターからの意見募集を行い、計8件：10項目（パブリックコメント0件：0項目、市政モニター8件：10項目）のご意見をいただきました。

ご意見等の概要とそれに対する市の考え方は次の表のとおりです。

### 1 パブリックコメント（0件：0項目）

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方

### 2 市政モニター（8件：10項目）

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
1	計画全体	三陸地域の自然は、災害を起こす厳しい面もあるが、私達の生活や産業など多大な恩恵をもたらしているので、この三陸のすばらしい地域を地球環境に配慮した共生型の暮らしをめざして市民一人ひとりが意識し行動し生活する事が大事だと私は思います。	ご指摘のとおり、地球環境に配慮した環境共生型の暮らしをめざし、市民・事業者・市の各主体が共通認識を持つことが肝要です。地球環境に対する配慮と対策に努めるため、計画案に掲げた施策を総合的・計画的に推進して参ります。
2	計画全体	「がれきの処理」「市民の雇用」など多大な貢献をいただいている太平洋セメントにも、加わっていただき事業をすすめてほしいと思いました。	太平洋セメント大船渡工場では、東日本大震災で発生したがれきの処理のほか、家庭ごみのうちプラスチック類等を分別する再利用ごみについても、資源としての利用に協力してもらっているところです。 また、大船渡市環境審議会や大船渡市環境基本計画策定検討委員会の委員として、意見をもらうなどしてきたところであり、今後も各種事業への協力を求めて参りたいと考えております。

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
3	基本目標1-3 身近な生活環境	福島原発の影響により農林水産物が売れないとか安値になる等がないよう対応を望む。	東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線影響対策については、公共施設や学校、都市公園などの空間放射線量の測定や農林水産物などの無料測定、その結果の公表等に継続して取り組むこととしております。 今後も測定体制と対策の充実を図るとともに、県などとともに、地場製品の安全・安心を周知するなどして、風評被害対策を講じて参ります。
4	基本目標3-2 地球温暖化対策 実行計画	住宅などを再建する方々に、ペレットストーブをすすめたり、また購入者には補助金を与えるなどのPR活動をするのも良いと思います。	住宅再建などに対する支援については、市本庁舎内に担当窓口を設置し、各種補助制度の相談等に応じてきたところです。 再建される方々の個々の状況に応じ、引き続き適切な相談等に努めて参りたいと考えております。
5	基本目標4-2 環境保全活動・環境配慮 行動指針編（3R の実践、エコライフの実践）	地球環境に配慮した暮らしをどうしたら可能になるのかを市民に教えてあげること大事だと思いました。	地球環境に配慮した暮らしについては、毎年市内10地域を実践地域として指定するエコライフ推進事業などを通じて、こうした暮らしの定着と意識の高揚を図ってきたところであり、市広報などにより、その実践項目や取組結果などの周知を行って参りました。加えて、各地域や事業所などを対象として、ごみ減量に関する出前講座なども実施しております。 今後におきましても、このような取組を継続するとともに、関係団体等と連携して、一層の周知・定着を図って参ります。
6	基本目標2-1 自然生態系	シカ・ハクビシン対策について、震災による住宅・農地移転などにより高台（三陸縦貫自動車道の上）への移転者が目に見えて出てくると思う。 年々増えてきているシカ被害対策について市としてはどれほど深刻に考えているのか。	野生鳥獣による農作物への被害は市内全域に及んでおり、市では、被害を防ぐためにシカ等防護網及び電気柵資材購入費の一部助成や箱わなの貸し出し、猟友会と連携しての有害捕獲などを実施してきております。 第5次大船渡市農業振興基本計画案には、こうした対策を継続するとともに、捕獲頭数の目標値として、ニホンジカ213頭（22年度）を28年度には250頭とするなど、被害防止を一層強化する事業等を掲載しており、その推進に努めて参ります。

No.	区分	提出されたご意見等の概要	提出されたご意見等に対する市の考え方
7	基本目標2-2 景観資源、身近な緑	三陸縦貫自動車道の両側の巨大のり部分の雑草、雑木の整理はどのように考えているのか、かなり景観の分でマイナスになっている。何年に一度くらいの対策は考えていないものか。	三陸縦貫自動車道の管理については、三陸国道事務所で行っているところですが、交通量や通行への妨げの度合い等に応じて草刈りなどが実施されていると伺っております。 ご指摘のように、景観の面からも良好でない箇所も見受けられることから、国に対し、適正かつ計画的な管理・整備を進めるよう、機会を捉えて要望して参ります。
8	基本目標2-2 景観資源、身近な緑	震災後、特に公園らしいものが減ってきている。市としてもある程度の大きい緑地公園も必要ではないか、土地の提供者は結構あることだと思う。高齢化となってきた、山林・田畑を市に提供したい方が相当数いることだと思う。それを活かしたい。	東日本大震災後、都市公園の一部に応急仮設住宅が設置されておりますが、今後、防災集団移転促進事業や災害公営住宅整備事業の実施に伴い、被災された方々の住宅再建とともに、都市公園についても復旧を進めていく予定としております。
9	推進編 2 計画の進行管理	長期にわたる計画なので常に市民にわかりやすく説明、又は進捗状況を伝えていただければと思います。	計画を策定後、市ホームページに専用のページを設けるとともに、市広報へ掲載する予定としております。 また、計画書の概要版パンフレットを作成し、市公衆衛生組合連合会や市環境保全推進協議会などの関係機関に配付したり、市の窓口などに配架するなどして、周知に努めて参ります。 進捗状況については、目標の達成状況等について点検したうえで評価結果を取りまとめ、大船渡市環境審議会をはじめ、市民の皆さんに公表して参ります。
10	基本目標2-2 景観資源、身近な緑	身近にある今出山も楽に登れ、大船渡の雄大な景色を皆が楽しむことが出来るよう、道の整備や、頂上の整備、リフト導入など構想が実現できたら、大船渡のシンボル今出山の魅力を市民の皆さんに知ってもらえんと思います。	今出山については、これまで猪川側や甫嶺側から登る道路の整備などが進められてきたところです。 また、衛生監視員等によるパトロールを実施し、不法投棄廃棄物の撤去等を行うことにより、景観の保持に努めて参りました。 道路環境等の整備については、引き続き県などの関係機関に働きかけるなどして検討して参ります。